

静岡県月例経済報告

(令和8年5月号)

……令和8年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 601



TECH 
BEAT  **2026**
Shizuoka

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
	・ 需要面	7
	・ 生産面	15
	・ 雇用面	17
	・ その他	20
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryu/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和8年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和8年3月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、中東情勢の影響による燃料・石油関連製品の価格高騰や調達の不安定化など景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。」

大型小売店販売額（3月）は、百貨店が3か月ぶり、スーパーが17か月ぶりで前年実績を下回ったため、総額でも17か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（3月）は、ホームセンターが2か月ぶり、家電大型専門店が3か月連続、コンビニエンスストアが13か月連続、ドラッグストアが7か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数（3月）は、軽自動車が2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（3月）は、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶり、持家が3か月連続で前年実績を下回ったため、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(3月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(3月調査)の令和7年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（3月）は、8か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、持ち直している」

「輸入は、前年と同水準であった」

輸出総額（3月）は、二輪自動車類が2か月ぶり、原動機が6か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車が3か月連続、自動車の部分品が8か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（3月）は、紙類及び同製品が2か月ぶり、パルプが7か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、木材がいずれも4か月連続、原動機、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。総額は、前年と同水準であった。

なお、輸出入のバランスは、1,224億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数（3月）は、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、電気機械が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械が4か月連続、化学が2か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。なお、前月比は2か月連続で減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では7か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率（3月）は1.08倍となり、前月を0.02ポイント上回った。62か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、10か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（2月）は3か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 2.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比 3.8%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（3月）は、件数は21件（前年同月比 19.2%減）と前年実績を下回り、負債総額は2,657百万円（同 37.1%減）と前年実績を下回った。

静岡の現場力でAIは進化する。



**TECH
BEAT** Shizuoka

2026 7.23 10:00
17:00 木 24 10:00
17:00 金 25 10:00
17:00 土
@グランシップ 〒422-8019
静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1
(JR東静岡駅南口徒歩3分)

国内外
スタートアップ他
約**250**団体
出展予定

静岡がフィジカルAI時代の最前線になる。——
国内外の注目スタートアップによる先端デジタルテクノロジーと、
私たちが誇るべき“ものづくり”の伝統との出会い。
生まれくる新たなムーブが、世界をリードするチカラとなる。
今年も豪華講師陣による多彩な講演・トークセッションを通期開催。
次世代に向けた体験型アトラクションにもワクワク。
この夏も、県下最大級のスーパーイベントがグランシップにやってくる！



静岡県



静岡銀行

TECH BEAT Shizuoka 実行委員会 静岡県産業イノベーション推進課 054-221-2609(平日:9時~17時)

静岡県は

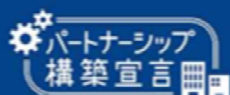
パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R8. 4. 30時点)

全国
6位

県内

4,462社

全国

91,302社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ
静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182
URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/nensei/introduction/toshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら
(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802
<https://www.biz-partnership.jp/>



令和8年度 価格転嫁促進支援事業(専門家伴走支援)【県委託事業】

価格転嫁に悩む事業者を 専門家が伴走支援

3回以内
無料



中小企業・小規模事業者が物価上昇を上回る賃上げを継続するための原資を確保するには、コストを価格に反映する「価格転嫁」が重要です。しかしながら、「取引先に値上げを言いにくい」「どのくらい値上げすればよいか分からない」「価格交渉に必要な資料を作れない」と悩む経営者も少なくありません。

本事業では、経営の専門家(中小企業診断士)が中小企業・小規模事業者を訪問し、価格転嫁のための課題の整理、コスト構造の見える化、原価計算の方法、価格交渉の資料づくり、価格交渉の進め方まで、幅広く支援し、賃上げ環境の整備と物価高に負けない経営基盤づくりを後押しします。

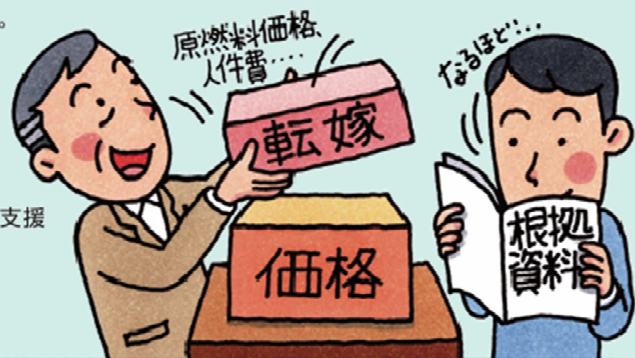
事業名 令和8年度価格転嫁促進支援事業

支援対象 中小企業・小規模事業者(個人事業主含む)

支援内容 価格転嫁支援員(中小企業診断士)が事業者を訪問(3回以内)し、価格転嫁を伴走支援

費用 無料(事業者負担はありません)

支援件数 200社(原則、先着順)



STEP1 お申込み

(一社)静岡県中小企業診断士協会の価格転嫁促進支援ページから、事業者または支援機関(商工会・商工会議所・金融機関等)の担当者が、お申込みください。

STEP2 支援員の決定

協会の事業担当より、業種・課題・支援希望等をご確認させていただいたうえ、事業者のご希望・ニーズにあった支援員を選定し、派遣します。

STEP3 支援員の派遣

支援員が事業者を訪問(3回以内)し、課題把握、原価管理、根拠資料の作成などを支援します。また派遣終了までに、「パートナーシップ構築宣言」を宣言していただけます。

パートナーシップ構築宣言とは _____

取引先との共存共栄などについて、代表者名で宣言し、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトに掲載します。社会全体の価格転嫁の機運醸成、取引環境の整備にもつながるものです。なお、宣言方法・宣言文の作成については、支援員がサポートいたしますので、ご安心ください。

お申込みは、こちらから

<https://shindan-shizuoka.jp/kakaku/>

(一社)静岡県中小企業診断士協会の価格転嫁促進支援事業ページから申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。



お問い合わせ

価格転嫁促進支援事業 事務局 (一社)静岡県中小企業診断士協会内

☎ 090-8896-5932

受付時間: 10:00~17:00(土日祝は除く)

✉ kakaku@shindan-shizuoka.jp

受託事業者: 一般社団法人 静岡県中小企業診断士協会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町3-21 ベガサート3階 www.shindan-shizuoka.jp/

<トピックス>

しずおか新商品セレクション2026出品募集

～静岡県の優れた加工品のコンクール～

選りすぐりの逸品を御出品ください!!



2025年度最高金賞

漁師歴50年以上の漁師がつくる、船上の味を再現した「漬け丼の具」

かつお船 漁師のまかない

かつおの漬け丼の具(株式会社いちまる)

募集期間:令和8年4月24日(金)～6月23日(火) (17時必着)

主な出品条件

- ・原材料に静岡県産農林水産物を使用し、商品化後2年以内の加工品であること。
 - ・出品者は、県内に住所又は主たる事務所の所在地を有する者であること。
- ※食品以外の商品も出品対象です。

詳しくは⇒「しずおか新商品セレクション 静岡県」でweb検索
問い合わせ先:静岡県経済産業部産業革新局マーケティング課 ブランド戦略班

TEL:054-221-3713 E-mail:marke@pref.shizuoka.lg.jp

主催:静岡県

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 40,370百万円

*前年同月比： 0.5%減

(県内3百貨店、164スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は40,370百万円で、前年同月比0.5%減となり、17か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比0.2%増)が3か月ぶり、スーパー(同0.6%減)が17か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、家庭用品(同3.1%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、飲食料品(同0.9%減)が20か月ぶり、衣料品(同7.4%減)が15か月連続、身の回り品(同20.3%減)が17か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.4%減と、27か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
販売額(百万円)	40,744	37,392	39,321	40,885	48,140	41,546	36,973	40,370
前年同月比(%)	1.1	1.5	4.7	5.5	0.8	3.7	3.6	▲0.5
うち百貨店(%)	6.1	▲7.4	2.3	1.7	▲2.5	0.7	1.7	▲0.2
スーパー(%)	0.5	3.0	5.2	6.2	1.5	4.2	3.9	▲0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	1.8	1.9	3.3	3.2	▲0.1	2.6	1.8	1.1
うち百貨店(%)	2.5	1.4	4.2	0.9	▲1.0	2.4	2.0	3.4
スーパー(%)	1.6	2.1	3.0	4.2	0.4	2.6	1.8	0.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.1	2.2	4.7	5.3	0.6	2.7	1.9	▲0.4

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
衣 料 品	▲13.1	▲26.6	▲14.6	▲15.4	▲24.1	▲4.8	▲9.0	▲7.4
うち紳士服・洋品	▲22.0	▲23.6	▲19.3	▲19.7	▲31.0	▲10.7	▲12.9	▲14.3
婦人・子供服・洋品	▲9.7	▲27.3	▲12.4	▲12.8	▲20.0	▲2.8	▲7.3	▲5.8
身の回り品	▲21.3	▲0.7	▲19.3	▲20.0	▲20.3	▲5.5	▲1.8	▲20.3
飲 食 料 品	1.5	4.0	5.9	6.2	3.2	4.3	3.3	▲0.9
家 庭 用 品	▲12.4	▲11.5	▲5.6	▲3.2	▲11.5	2.5	8.8	3.1
うち家庭用電気機械器具	7.8	5.6	18.6	23.9	7.4	17.7	34.6	19.9

(注)店舗数調整済、全月速報値

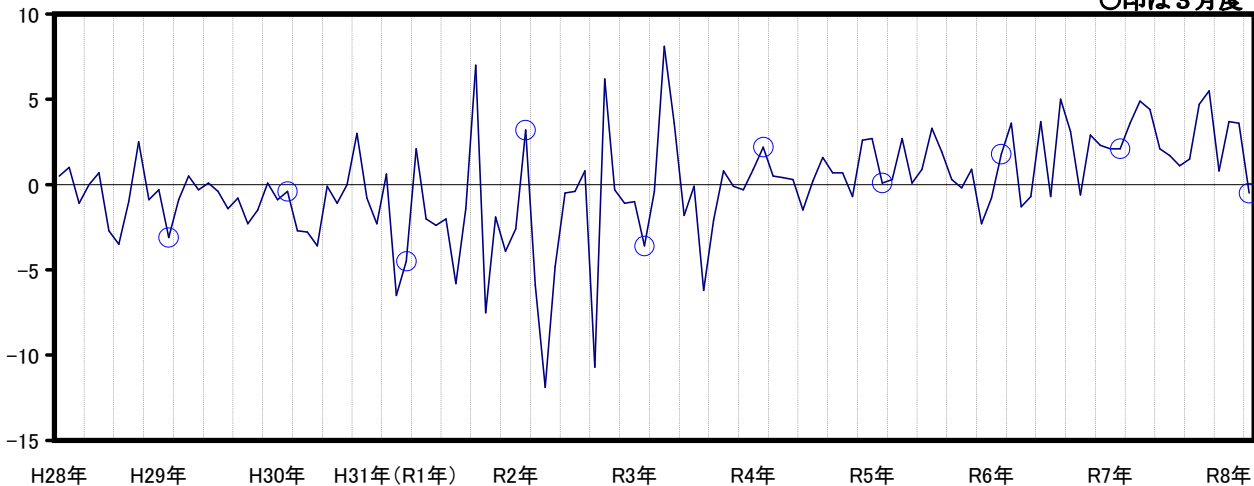
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は3月度



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 85,619百万円

*前年同月比： 2.4%増

(県内91家電大型専門店、1,676コンビニエンスストア、625ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は85,619百万円で、前年同月比 2.4%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。
業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.1%増）が2か月ぶり、家電大型専門店（同 3.0%増）が3か月連続、コンビニエンスストア（同 2.3%増）が13か月連続、ドラッグストア（同 2.6%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
販売額（百万円）	85,012	78,109	79,002	80,144	89,670	79,645	73,609	85,619
前年同月比（%）	0.1	1.3	2.1	3.8	▲0.3	3.7	2.7	2.4
うち 家電大型専門店（%）	0.4	▲1.7	9.7	6.8	▲2.6	11.9	4.0	3.0
コンビニエンスストア（%）	2.2	1.8	0.8	2.6	0.5	1.3	1.8	2.3
ドラッグストア（%）	▲0.2	3.0	1.9	5.1	1.2	3.8	4.3	2.6
ホームセンター（%）	▲6.3	▲3.8	0.7	0.3	▲6.0	2.3	▲1.6	1.1
(参考)全国前年同月比（%）	2.8	3.3	4.5	5.3	1.5	3.8	3.0	3.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

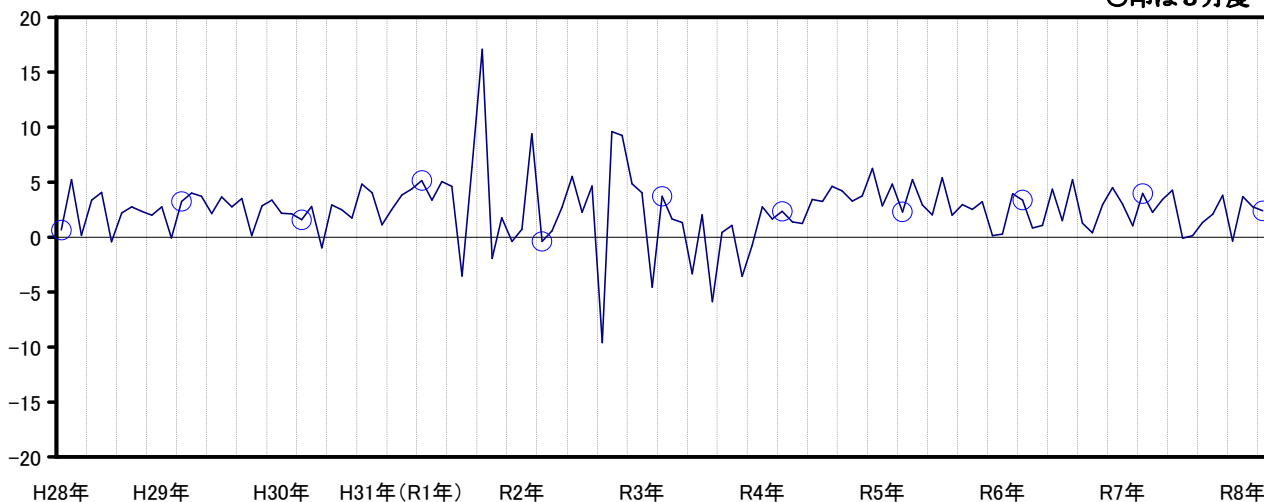
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省
○印は3月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数
(乗用車、軽自動車合計)

3 月 = 17,015 台

*前年同月比： 1.2%減

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は、17,015台で、3か月連続で前年実績を下回った。
車種別にみると、軽自動車(前年同月比6.9%増)が2か月連続で前年実績を上回ったもの
の、乗用車(同7.3%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
登録台数(台)	10,080	14,837	13,867	12,540	12,005	13,147	14,888	17,015
前年同月比(%)	▲8.2	2.3	▲0.5	▲6.8	3.5	▲7.9	▲4.4	▲1.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.2	▲2.4	▲2.8	▲7.0	▲0.8	▲6.2	▲7.3	▲3.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

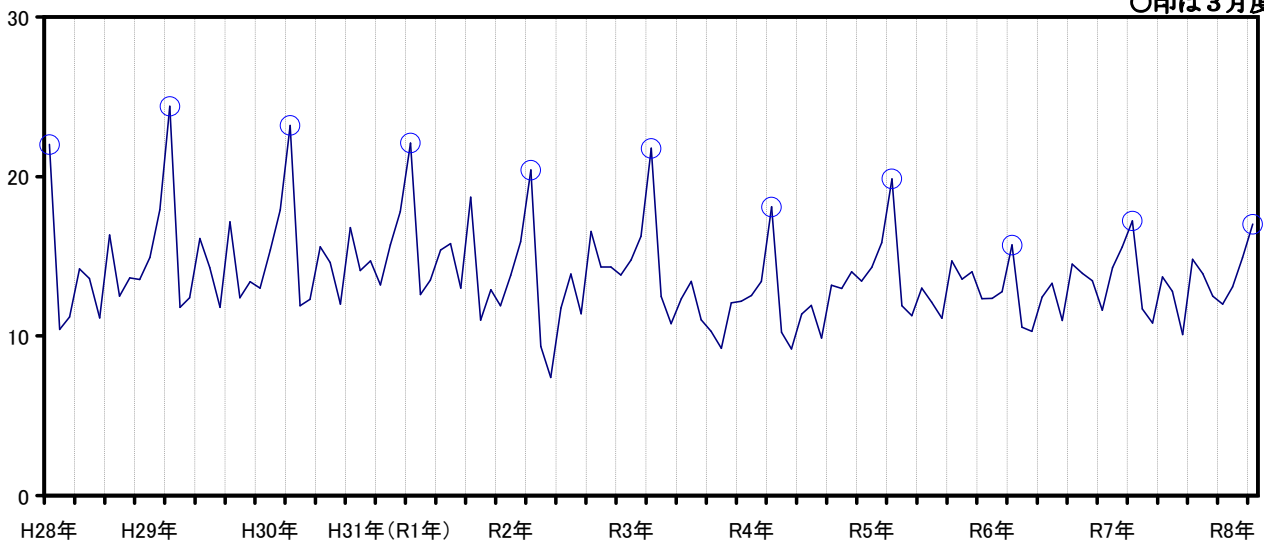
	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
全乗用車	▲8.2	2.3	▲0.5	▲6.8	3.5	▲7.9	▲4.4	▲1.2
乗用車	▲11.8	2.7	▲2.6	▲5.9	6.0	▲11.7	▲10.5	▲7.3
軽自動車	▲4.0	2.0	2.0	▲7.9	0.7	▲3.3	3.0	6.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は3月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3 月 = 1,371 戸

*前年同月比： 10.1%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,371戸で、前年同月比 10.1%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 23.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家（同 33.6%減）が2か月ぶり、持家（同 1.8%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
戸数 (戸)	1,605	1,403	1,766	1,327	1,456	1,316	1,261	1,371
前年同月比 (%)	▲ 3.1	3.2	▲ 13.7	▲ 4.9	39.1	▲ 34.0	▲ 8.7	▲ 10.1
うち持家 (%)	▲ 10.4	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 9.6	17.1	▲ 20.9	▲ 20.2	▲ 1.8
貸家 (%)	9.4	11.5	0.3	27.9	153.5	▲ 45.4	30.2	▲ 33.6
分譲住宅 (%)	▲ 9.4	37.6	4.3	▲ 23.8	25.5	▲ 28.8	▲ 31.5	23.5
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 9.8	▲ 7.3	3.2	▲ 8.5	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 4.9	▲ 29.3

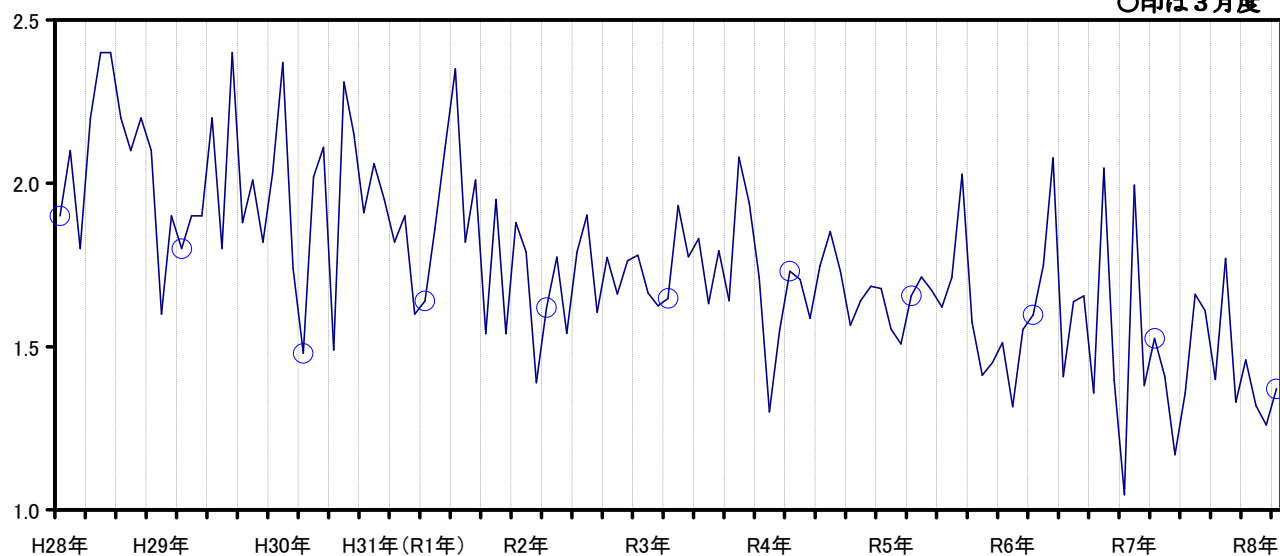
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は3月度



3 公共工事請負金額

3月 = 28,173百万円

*前年同月比： 10.6%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は28,173百万円で、前年同月比 10.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は357件で、前年同月比33.9%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
金額（百万円）	27,483	46,869	19,857	14,761	24,559	10,667	8,504	28,173
前年同月比（%）	▲1.9	44.8	▲9.2	▲18.5	116.0	▲30.2	▲35.1	▲10.6
年度累計前年同月比（%）	12.4	16.9	14.7	12.5	16.6	14.2	12.2	10.1
件数（件）	639	1,012	646	465	394	238	138	357
前年同月比（%）	▲11.6	11.6	▲8.6	▲8.6	▲4.4	▲8.8	▲28.1	▲33.9
年度累計前年同月比（%）	▲8.8	▲4.5	▲5.1	▲5.4	▲5.4	▲5.5	▲6.2	▲8.3

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
国	▲38.5	21.4	69.7	▲49.0	66.2	63.3	▲28.5	41.2
独立行政法人等	4,130.3	1,772.5	10.2	▲91.1	7,807.0	▲98.3	40.9	310.3
県	9.9	18.4	▲22.9	▲14.5	▲15.5	▲1.6	▲61.3	▲48.3
市町	1.6	15.9	▲14.7	17.0	7.7	▲51.2	▲28.0	▲12.3
地方公社	-	1,301.4	▲87.0	-	6,848.3	-	-	-
その他	▲61.4	48.6	276.8	▲69.7	▲46.0	▲67.9	▲54.6	▲77.0

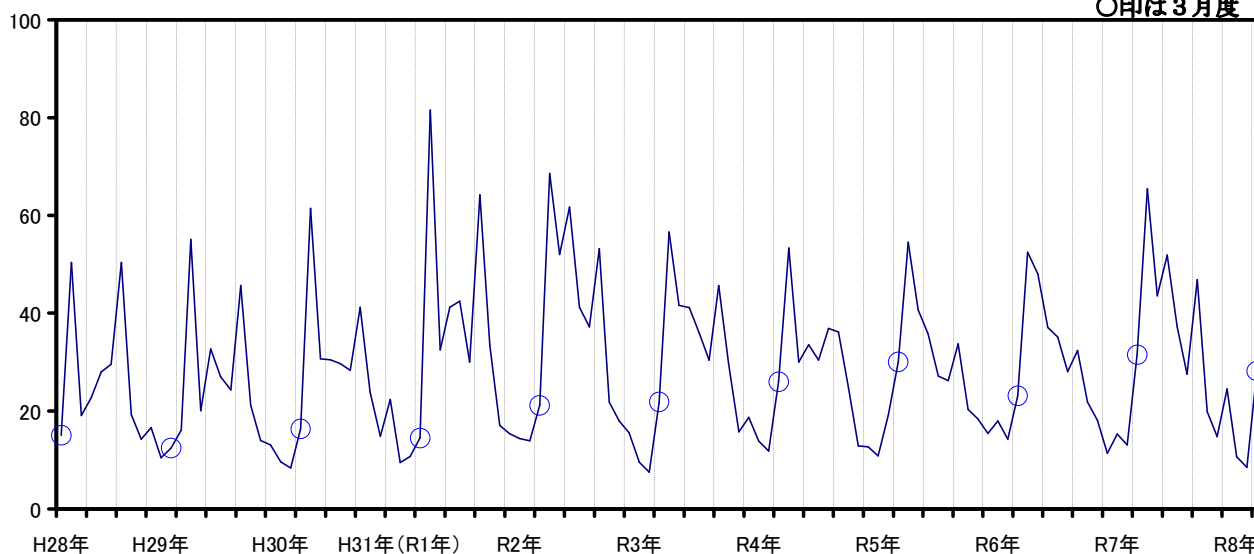
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は3月度



4 設備投資

<概況>

令和7年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和8年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%増）で増加、非製造業（同 2.3%減）で減少し、全産業（同 1.1%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 1.3%増）で増加、非製造業（同 0.2%減）で減少し、全産業（同 1.0%増）では増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は92,180㎡で、前年同月比 113.3%増となり、8か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 8.0) 13.9	1.1
	全国	(▲ 0.6) 7.9	1.3
製造業	県	(▲12.7) 20.9	3.3
	全国	(▲ 2.6) 9.9	2.6
非製造業	県	(0.3) 4.7	▲ 2.3
	全国	(0.7) 6.8	0.6

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 2.4) 11.5	1.0
	全国	(▲ 1.3) 7.8	2.7
製造業	県	(▲ 2.8) 14.0	1.3
	全国	(▲ 1.2) 7.7	3.1
非製造業	県	(▲ 0.8) 2.0	▲ 0.2
	全国	(▲ 1.3) 8.0	2.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和8年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査(令和8年3月調査)」

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	57,307	37,380	67,567	50,576	51,895	68,568	49,992	92,180
前年同月比（%）	▲ 14.8	▲ 57.6	▲ 47.2	▲ 18.7	▲ 4.0	▲ 57.6	▲ 27.9	113.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 15.6	▲ 3.1	▲ 8.0	▲ 25.1	▲ 5.9	3.2	▲ 11.0	▲ 12.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R7年12月	R8年3月	R8年6月 (予測)
全産業	全産業	8	8	1
	製造業	▲ 6	▲ 1	▲ 5
	非製造業	20	17	7
（参考）全国・全産業		18	18	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和8年3月調査)」

5 輸出

3月 = 239,575百万円

*前年同月比： 9.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は239,575百万円で、前年同月比 9.7%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比2.7%減）が2か月ぶり、原動機（同7.6%減）が6か月連続、エアコン（同53.7%減）、科学光学機器（同 29.3%減）がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 74.6%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 32.2%増）が8か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、米国向け（同 4.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 18.0%増）が4か月連続、EU向け（同 7.4%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	198,300	213,510	230,911	263,762	256,426	204,677	234,891	239,575
前年同月比(%)	▲4.2	▲1.7	8.7	28.2	5.9	24.8	6.9	9.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.1	4.2	3.6	6.1	5.1	16.8	4.2	11.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
原動機	15.6	2.7	▲13.0	▲14.9	▲4.3	▲19.5	▲19.8	▲7.6
エアコン	▲9.3	7.3	20.3	▲11.8	▲40.8	▲6.0	▲34.6	▲53.7
自動車	▲15.1	▲8.4	15.3	▲17.9	▲7.5	65.7	15.5	74.6
自動車の部分品	1.3	13.2	31.2	48.0	47.8	41.6	26.8	32.2
二輪自動車類	31.1	▲8.2	24.2	13.5	9.3	99.9	11.0	▲2.7
科学光学機器	▲25.2	▲13.7	11.4	▲21.5	▲9.9	▲15.6	▲37.8	▲29.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
アジア	▲11.4	▲3.1	9.7	▲3.7	19.6	20.8	5.7	18.0
米国	5.9	▲12.3	▲6.3	100.4	▲9.5	17.6	▲13.0	▲4.5
EU	8.2	4.0	38.2	26.9	1.3	53.2	13.5	7.4

<資料>清水税関支署

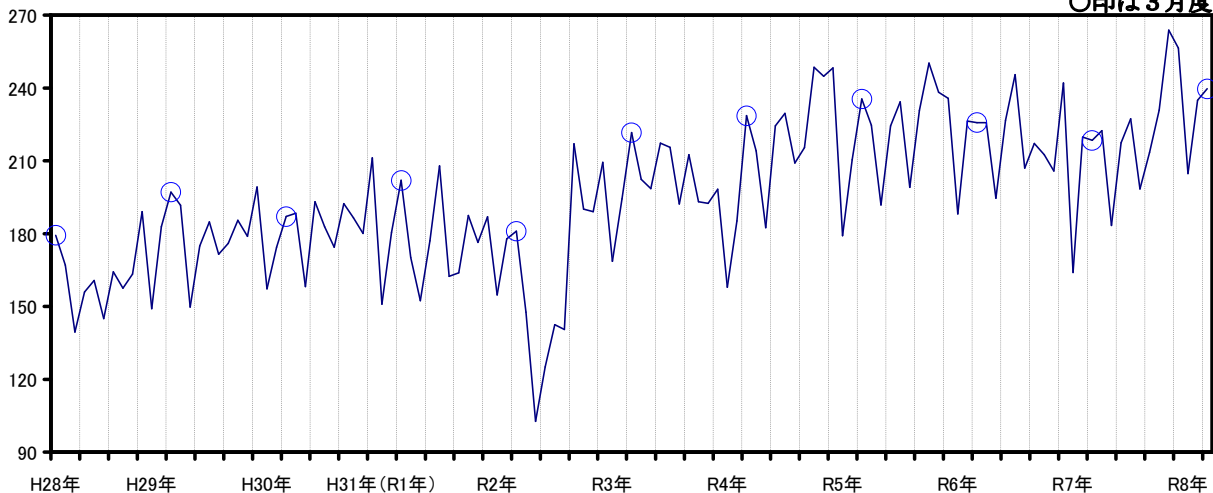
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



6 輸入

3月 = 117,175百万円

*前年同月比： 0.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は117,175百万円で、前年と同水準であった。
 主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 13.3%減）が2か月ぶり、パルプ（同 12.8%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 8.8%増）、木材（同 2.6%増）がいずれも4か月連続、原動機（同 16.1%増）、自動車の部分品（同 30.8%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。
 地域別では、アジアから（同 9.0%減）が2か月ぶり、米国から（同 9.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、EUから（同 27.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
輸入総額（百万円）	105,943	123,981	122,461	112,571	127,008	137,578	125,069	117,175
前年同月比（%）	▲5.5	6.9	8.0	7.3	5.4	▲1.7	24.0	0.0

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	9.4	38.5	10.7	▲3.1	21.8	5.1	79.2	8.8
木材	2.7	▲6.6	17.4	▲12.7	21.9	78.2	24.6	2.6
パルプ	4.2	▲9.7	▲8.3	▲21.2	▲25.4	▲4.3	▲33.1	▲12.8
紙類及び同製品	▲14.7	▲14.2	▲2.6	▲28.3	▲17.6	▲7.5	23.7	▲13.3
原動機	22.6	▲22.6	▲30.3	20.8	12.1	▲11.9	29.3	16.1
自動車の部分品	32.3	5.7	36.9	9.7	21.8	▲1.5	46.8	30.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

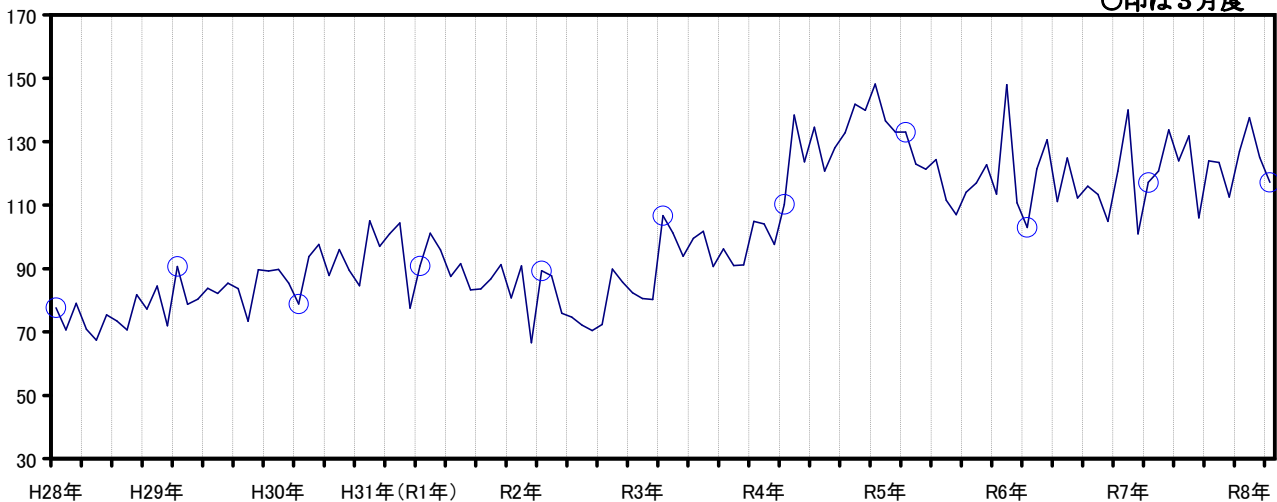
	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
アジア	▲3.6	4.1	16.7	20.7	23.3	▲7.0	43.9	▲9.0
米国	▲30.8	▲8.8	12.9	20.6	▲9.9	▲33.7	▲9.5	▲9.7
EU	▲14.4	▲18.4	18.1	▲18.5	▲9.3	3.5	49.9	27.8

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
 ○印は3月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 98.3

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.2%減

*前年同月比(原指数) : 7.0%増

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は98.3(季節調整済指数)で、前月比は1.2%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は7.0%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比6.3%減)が2か月ぶり、電気機械(同0.7%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.0%減)が3か月連続、食料品・たばこ(同3.8%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同15.6%増)が4か月連続、化学(同29.0%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
指数	95.3	94.9	97.1	95.1	91.6	100.7	99.5	98.3
前月比(%)	1.7	▲0.4	2.3	▲2.1	▲3.7	9.9	▲1.2	▲1.2
前年同月比(%)	▲3.0	1.8	2.0	▲4.3	0.9	▲0.6	1.6	7.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	3.8	1.6	▲2.2	2.6	0.7	0.4	2.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.6	▲11.2	▲15.9	4.9	▲6.8	▲3.3	11.9	▲6.3
電気機械工業	5.7	4.4	10.7	▲9.3	▲0.6	▲5.6	▲2.6	▲0.7
輸送機械工業	▲1.9	6.4	4.0	▲1.8	6.0	7.3	2.2	15.6
化学工業	▲4.7	1.8	1.9	▲8.7	▲2.2	▲8.2	5.4	29.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲8.7	2.7	▲0.6	▲2.9	3.9	▲5.3	▲2.0	▲2.0
食料品・たばこ工業	▲4.4	▲2.4	1.2	▲3.2	8.4	3.2	▲0.6	▲3.8

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

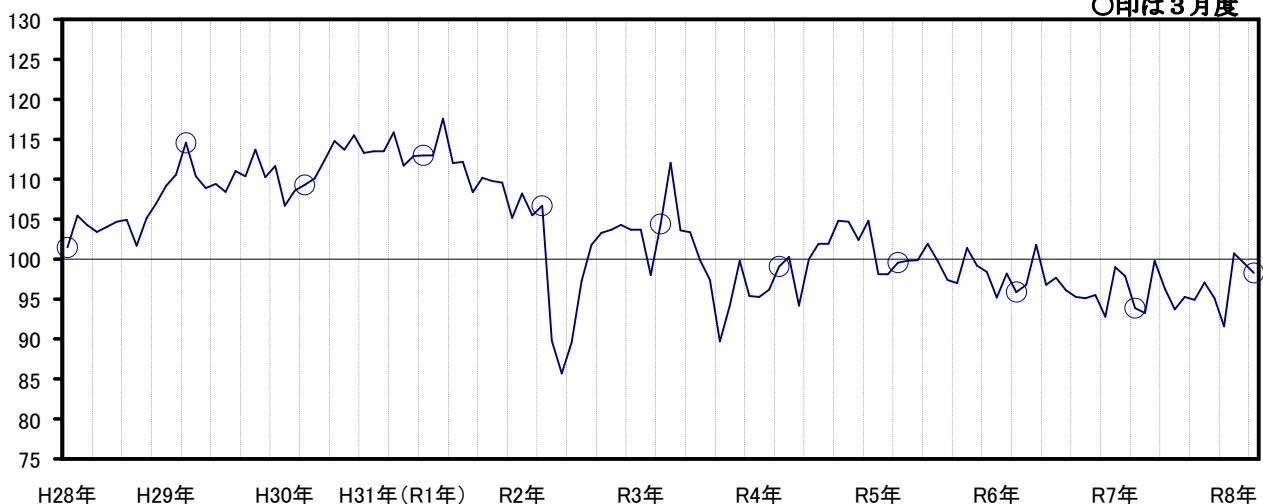
<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は3月度



(2) 鋳工業在庫指数

3 月 = 108.0

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.6%増

*前年同月比(原指数) : 2.3%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は108.0(季節調整済指数)で、前月比は1.6%増と、3か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は2.3%増と、7か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、食料品・たばこは、前年実績と同水準となった。パルプ・紙・紙加工品(前年同月比6.7%減)が22か月ぶり、電気機械(同4.7%減)が3か月連続で前年水準を下回ったもの、化学(前年同月比1.8%増)が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同8.9%増)が5か月連続、輸送機械(同12.9%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
指数	102.0	105.9	104.5	105.8	102.5	104.1	106.3	108.0
前月比(%)	▲0.1	3.8	▲1.3	1.2	▲3.1	1.6	2.1	1.6
前年同月比(%)	▲5.0	2.6	0.2	1.5	3.8	2.8	3.0	2.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.9	▲2.4	▲1.9	▲4.1	▲2.8	▲4.3	▲3.4	▲5.3

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲4.7	0.1	▲0.4	5.2	6.3	12.3	15.0	8.9
電気機械工業	5.2	▲0.9	1.1	▲1.3	0.5	▲5.7	▲8.0	▲4.7
輸送機械工業	▲34.7	3.6	▲4.7	▲3.6	18.5	10.0	9.4	12.9
化学工業	6.3	12.3	11.5	7.2	5.9	2.7	▲0.9	1.8
パルプ・紙・紙加工品工業	4.7	2.9	0.3	3.7	6.9	4.4	6.3	▲6.7
食料品・たばこ工業	▲0.6	▲4.5	▲8.8	▲4.3	▲8.3	▲4.1	0.2	0.0

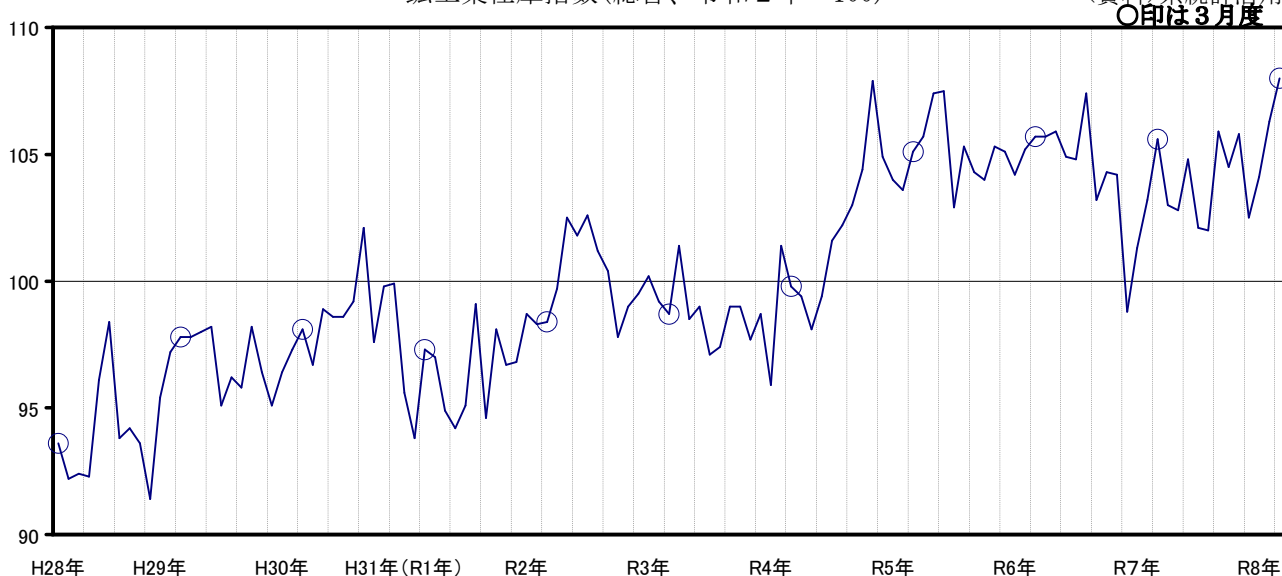
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.08倍

*前月比（季節調整値）： 0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

3月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.08倍となり、前月を0.02ポイント上回った。62か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 11.7%減）は3か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（同 144.3%増）、医療・福祉（同 0.3%増）がいずれも3か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同 22.4%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、情報通信業（同 13.3%減）が2か月ぶり、建設業（同 7.8%減）が9か月連続、製造業（前年同月比 0.8%減）が2か月連続、運輸業・郵便業（同 4.4%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
県（受理地別）	1.06	1.06	1.07	1.07	1.09	1.06	1.06	1.08
（参考）県（就業地別）	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20
全 国	1.21	1.20	1.19	1.19	1.20	1.18	1.19	1.18

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
建 設 業	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 8.5	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 6.5	▲ 10.3	▲ 7.8
製 造 業	▲ 1.3	3.4	▲ 18.4	▲ 14.5	5.4	0.8	▲ 12.8	▲ 0.8
情 報 通 信 業	▲ 17.8	18.5	▲ 24.2	3.9	▲ 3.3	▲ 22.2	27.1	▲ 13.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 16.8	▲ 1.3	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 17.6	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 4.4
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 41.8	▲ 6.9	10.2	▲ 24.5	118.9	▲ 5.2	▲ 29.7	144.3
医 療 ・ 福 祉	▲ 4.0	0.0	3.5	▲ 11.1	1.6	▲ 0.2	▲ 5.2	0.3
サービス業（他に分類されないもの）	11.9	3.4	▲ 1.4	4.1	▲ 0.8	▲ 7.7	▲ 2.6	22.4
合 計	▲ 10.1	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 9.6	3.8	▲ 4.1	▲ 10.3	11.7

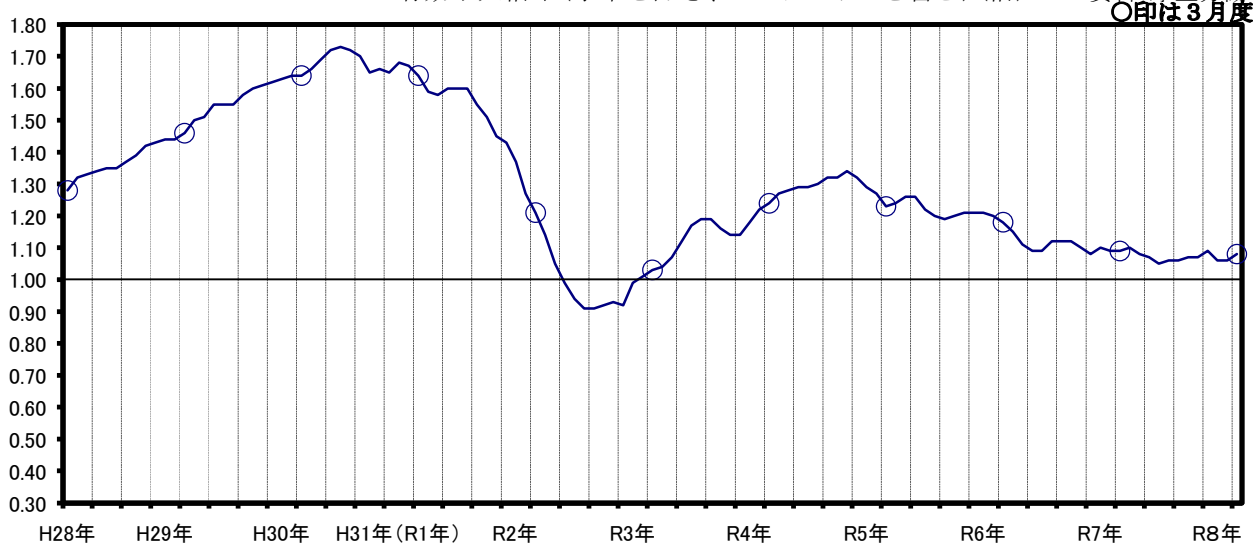
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 12,636人

*前月比: 5.4%増

*前年同月比: 12.7%増

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は12,636人で、前月比は5.4%増と、3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は12.7%増と10か月連続で前年実績を上回った。
 完全失業率(全国)は2.7%と前月から0.1ポイント増加した。
 静岡県(令和7年10~12月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和7年7~9月)と同水準であった。

<最近の動き>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
実人員(人)	14,817	14,982	14,620	13,482	13,497	12,833	11,991	12,636
前月比(%)	▲1.3	1.1	▲2.4	▲7.8	0.1	▲4.9	▲6.6	5.4
前年同月比(%)	9.0	13.6	11.2	9.6	9.9	6.7	4.1	12.7
(参考)全国前年同月比(%)	8.5	13.9	11.8	9.3	11.4	6.5	5.8	16.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R7年8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7

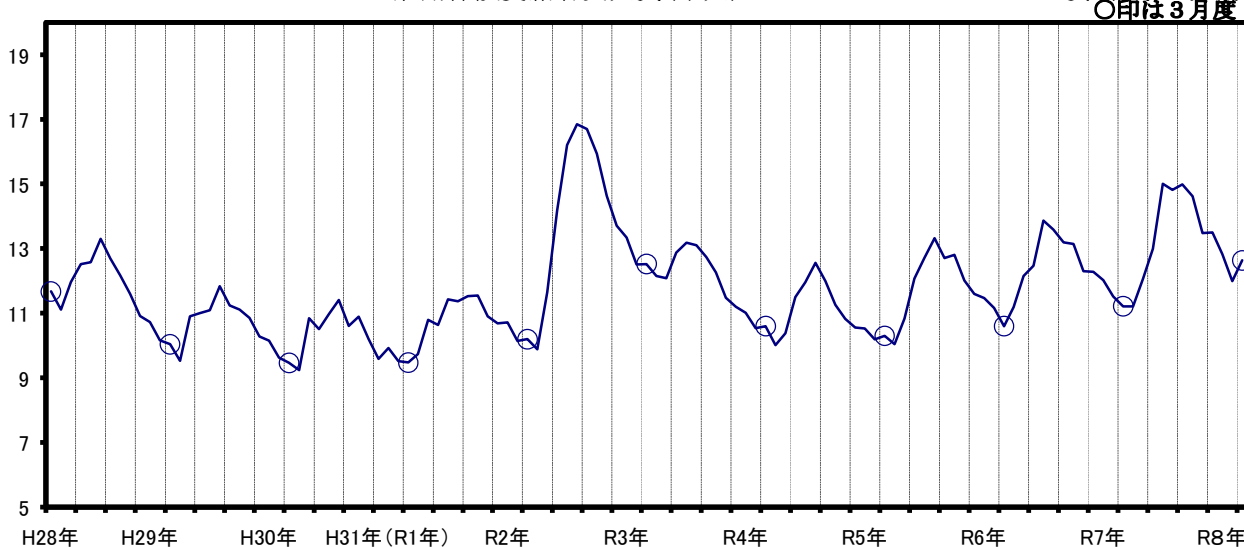
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 116.0

*前月比(季節調整済指数): 0.8%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 0.0%

<概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.0(季節調整済指数)で、4か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は3か月ぶりに前年実績を下回った。
業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比8.8%増)が2か月ぶり、情報通信業(同176.3%増)が7か月連続、医療・福祉(同28.6%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、運輸業・郵便業(同12.7%減)が13か月ぶり、その他のサービス業(同11.4%減)が2か月ぶり、建設業(同24.5%減)が15か月連続、製造業(同2.1%減)が18か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月
指数	124.6	114.7	123.6	124.9	123.9	121.7	115.1	116.0
前月比(%)	0.2	▲7.9	7.8	1.1	▲0.8	▲1.8	▲5.4	0.8
前年同月比(%)	0.0	▲6.8	▲0.8	4.7	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.7	▲1.9	▲0.8	▲0.9	▲2.4	▲0.8	1.8	0.0

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月
建設業	▲17.7	▲23.2	▲42.6	▲17.9	▲29.4	▲25.3	▲38.8	▲24.5
製造業	▲7.5	▲12.0	▲8.1	▲7.9	▲1.9	▲9.2	▲6.9	▲2.1
情報通信業	▲10.1	15.2	32.7	11.6	58.0	49.2	35.2	176.3
運輸業・郵便業	42.9	18.4	2.6	12.5	12.0	30.5	11.7	▲12.7
卸売業・小売業	▲21.8	▲15.4	▲3.1	5.8	10.9	17.2	▲16.7	8.8
医療・福祉	0.0	▲12.7	27.4	▲11.7	▲8.4	▲9.8	33.8	28.6
その他のサービス業	0.0	▲7.1	2.1	▲3.8	▲17.4	▲6.6	1.4	▲11.4
調査産業計	0.0	▲6.8	▲0.8	4.7	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0

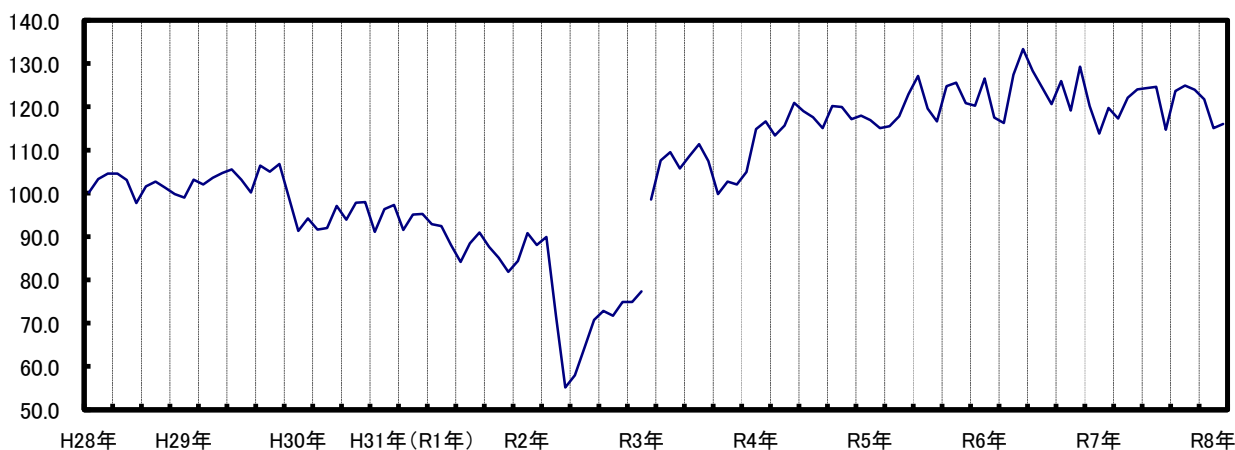
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

4 月 = 132.8

*前 月 比: 2.3%上昇

*前年同月比: 4.9%上昇

<概 況>

4月の国内企業物価指数は132.8となり、前月比は2.3%の上昇となった。また、前年同月比は4.9%の上昇となった。

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	127.0	127.6	128.0	128.1	128.4	128.3	129.5	132.8
前 月 比 (%)	0.5	0.5	0.3	0.1	0.3	0.0	1.0	2.3
前年同月比 (%)	2.8	2.7	2.7	2.4	2.4	2.1	2.9	4.9

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

2 月 = 147,051億円

*前 月 比: 0.1%減

*前年同月比: 2.4%増

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は147,051億円で、前月比とは0.1%の減少となった。また、前年同月比は2.4%の増加となった。

	R 7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月
貸出残高(億円)	145,267	145,524	145,547	145,328	145,910	146,916	147,146	147,051
前 月 比 (%)	0.0	0.2	0.0	▲ 0.2	0.4	0.7	0.2	▲ 0.1
前年同月比 (%)	1.9	1.8	1.5	1.9	1.7	1.9	2.4	2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

2 月 = 1.627%

*前 月 差: 0.042ポイント増

*前年同月差: 0.229ポイント増

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.627%で、前月から0.042ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.229ポイントのプラスとなった。

	R 7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月
貸出約定金利 (%)	1.542	1.540	1.543	1.543	1.541	1.567	1.585	1.627
前月差(ポイント)	0.008	▲ 0.002	0.003	0.000	▲ 0.002	0.026	0.018	0.042
前年同月差(ポイント)	0.274	0.261	0.240	0.222	0.217	0.200	0.201	0.229

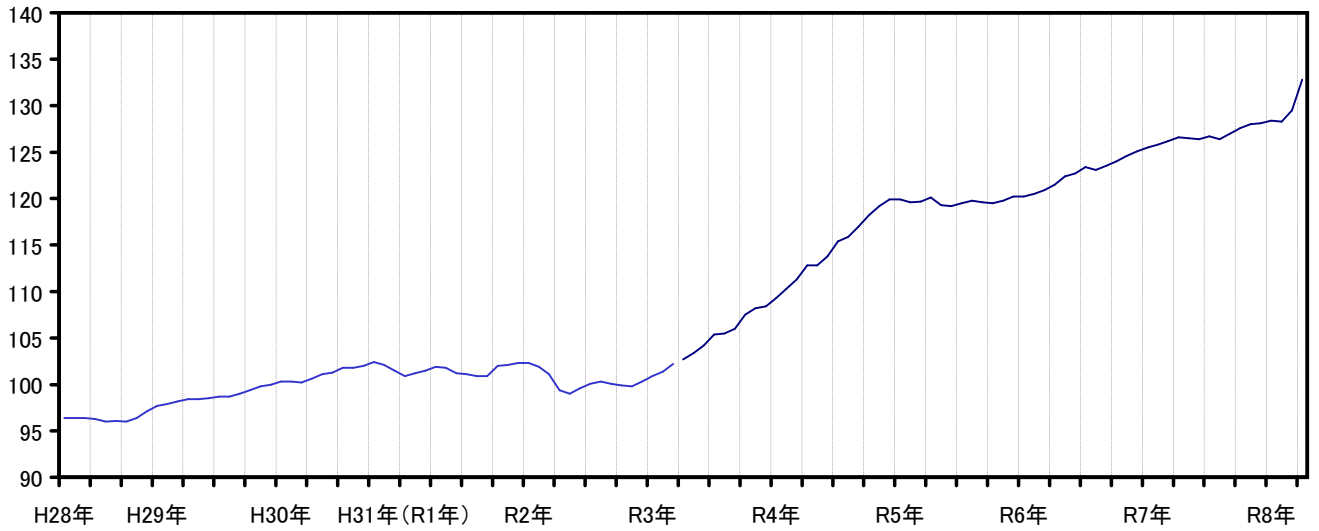
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

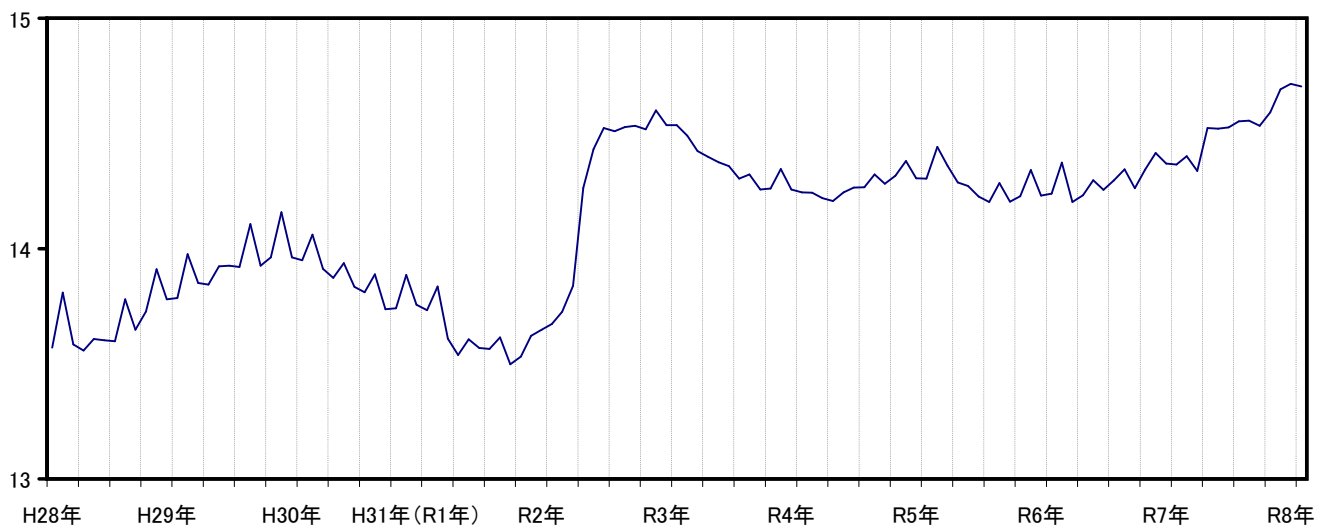
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



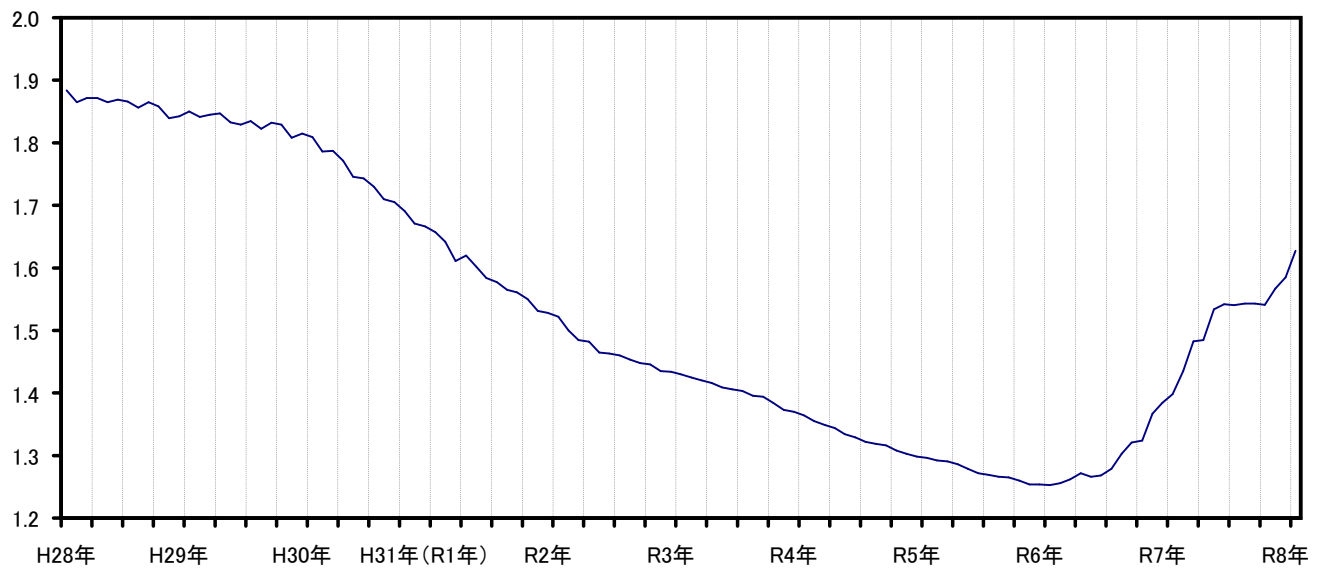
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 27,430百万円**

*前年同月比： 3.8%減

<概況>

3月の保証承諾は、金額は27,430百万円（前年同月比 3.8%減）と前年を下回り、件数は2,216件（同 1.5%増）と前年実績を上回った。

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	19,851	25,391	16,213	16,907	20,988	14,036	17,393	27,430
前年同月比（%）	41.4	79.5	27.6	15.9	21.9	19.0	36.9	▲ 3.8
保証件数（件）	1,584	1,984	1,536	1,411	1,809	1,317	1,504	2,216
前年同月比（%）	14.2	34.0	18.5	2.8	25.3	10.7	18.4	1.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 159.28円/ドル**

*前月差： 0.64円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 14.89円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は159.28円で、前月と比べて0.64円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	147.94	151.28	155.12	155.88	156.71	155.07	158.64	159.28
前月差（円）	0.27	3.34	3.84	0.76	0.83	▲ 1.64	3.57	0.64
前年同月差（円）	4.56	1.65	1.40	2.16	0.22	3.11	9.46	14.89

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 21件**

*前年同月比： 19.2%減

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は21件（前年同月比 19.2%減）と前年実績を下回り、負債総額は 2,657百万円（同 37.1%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の95.2%を占め、35か月連続で50%以上となっている。

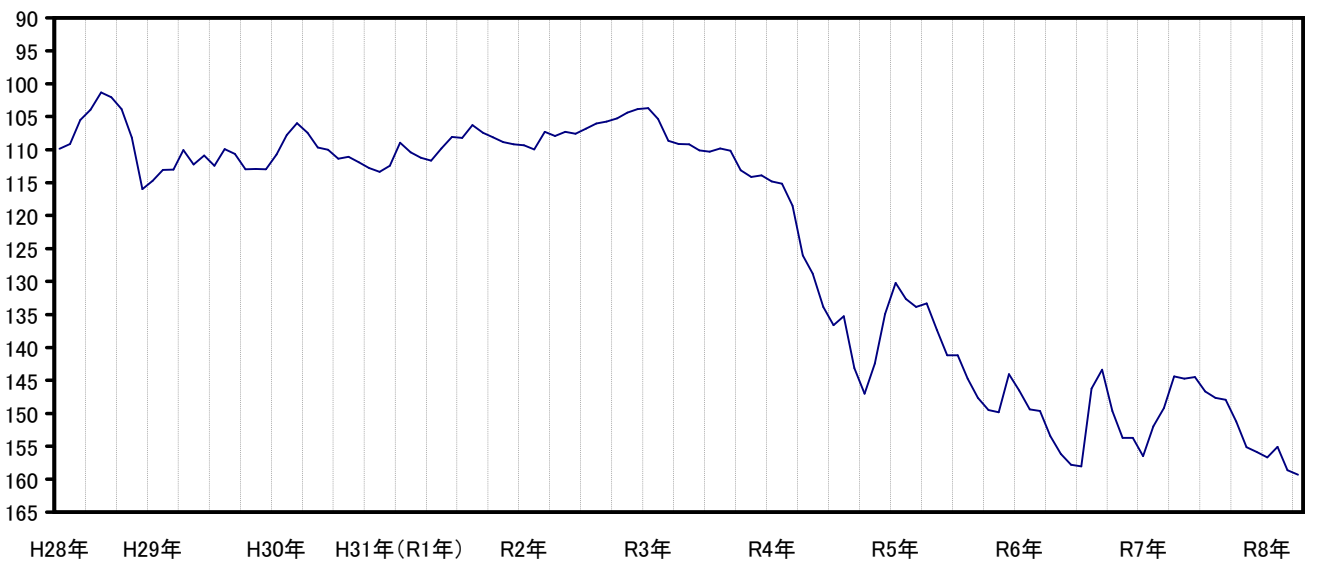
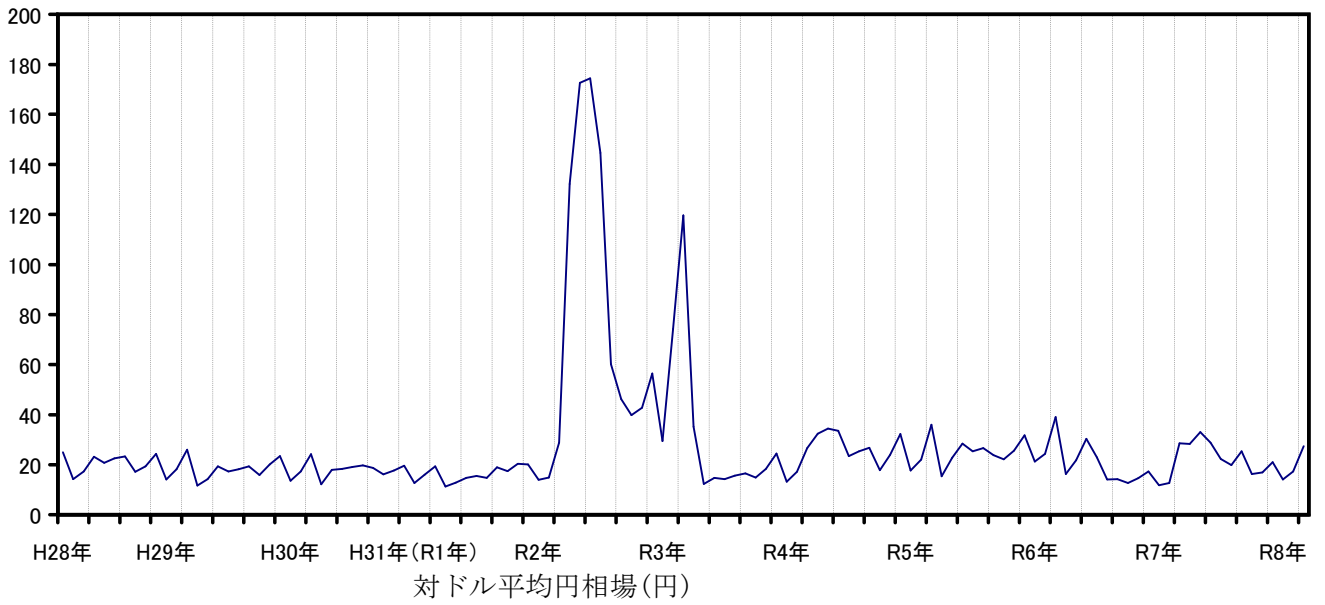
	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
倒産件数（件）	17	29	15	18	27	16	17	21
前年同月比（%）	41.7	38.1	▲ 48.3	38.5	58.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 19.2
うち不況型倒産件数(件)	12	25	11	17	20	16	16	20
負債総額（百万円）	2,832	3,380	1,693	3,149	3,196	1,710	1,895	2,657
前年同月比（%）	39.6	18.9	▲ 60.2	132.6	108.9	▲ 15.0	22.7	▲ 37.1

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

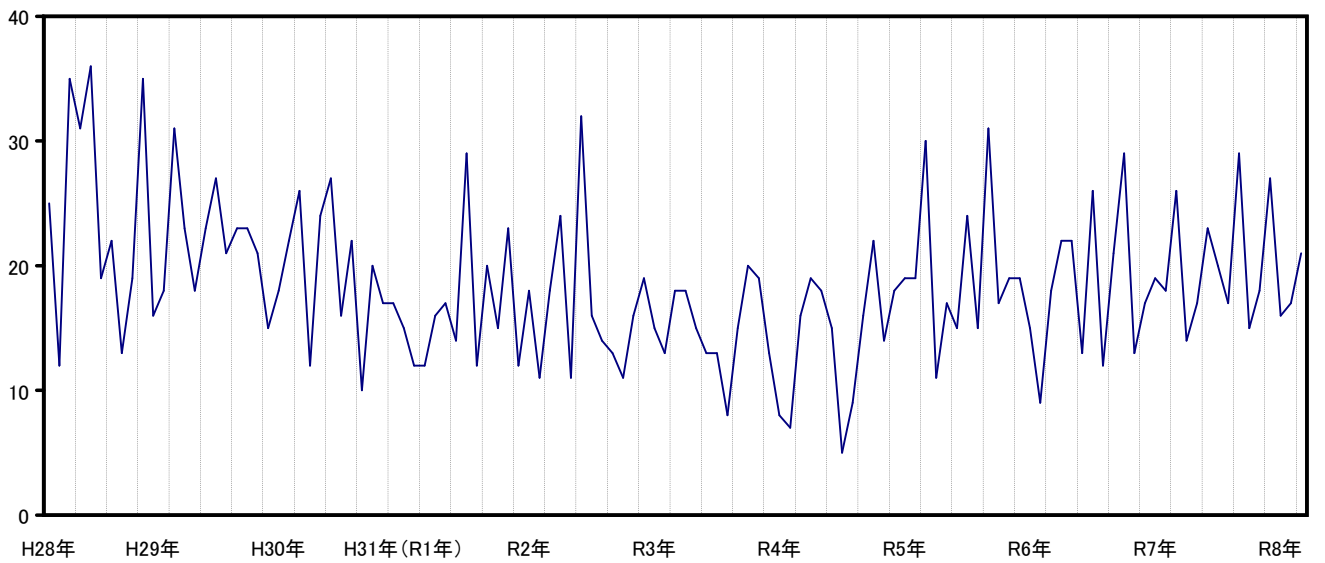
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和8年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

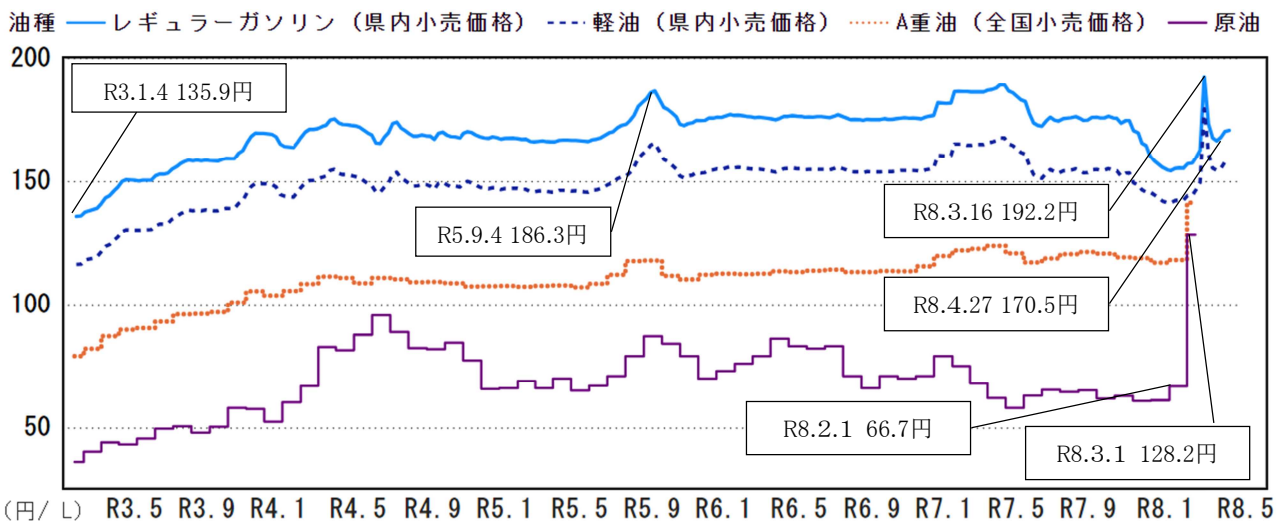
業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>令和8年2月の国内二輪車生産台数は、50,753台（前年同月比16.1%減）で、前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、1,180台（同88.6%減）で、前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,007台（同74.4%増）で、前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、2,420台（同9.3%増）で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、43,146台（同5.5%減）で、前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、24,866台（同14.8%減）で、前年実績を下回った。輸出向けは、47,389台（同4.3%減）で、前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>令和8年2月の自動車国内生産台数は、739,707台（前年同月比0.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は369,529台（同2.4%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が6か月連続で前年実績を下回ったものの、トラックが6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は318億円（前年同月比4.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。国内出荷台数は363千台（同8.9%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,168千台（同15.3%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。業務用は73千台（同9.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、579千台（同21.1%減）で、2か月ぶりに前年度実績を下回った。うち、スマートフォンは、456千台（同19.0%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は81.8%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生 産 用 機 械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,934億7,000万円（前年同月比28.0%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,429億9,700万円（同40.4%増）で、18か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが750億9,100万円（同35.3%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。内需は504億7,300万円（同2.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億5,638万円（前年同月比2.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが30億4,152万円（同6.1%増）、国内向けが25億1,486万円（同2.1%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,973台（同16.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。機種別では、アップライトピアノが1,135台（同26.7%増）、グランドピアノが838台（同4.8%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,431台（同6.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが891台（同13.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、1,732千トン（前年同月比0.4%増）で、14か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は799千トン（同2.6%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。板紙は933千トン（同3.1%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、391千トン（同7.3%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、188千トン（同12.6%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が964千箱（前年同月比7.6%増）で6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が723千箱（同5.6%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は478千箱（同15.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は240千箱（同14.3%増）で7か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、7,948千箱（同17.3%増）で、8か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、718千㎡（前年同月比16.5%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、683千㎡（同15.4%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、35千㎡（同33.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千㎡（同3.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、60億4739万円（前年同月比12.3%増）と5か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、693億4,865万円（同7.4%減）と7ヶ月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、44,703百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。美術品や外商会の売上げが好調だった。また、イベント開催により来客数が増加し、関連商品の売上げにより家庭用品は好調だった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。お米が前年比で大幅に売上げ減になっている。エリア内における同業他社の出店が多く、来客は分散してしまい減っている。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは横ばいで、来客数は減少した。大型店舗のテナントは売上げ、客数ともに好調である。複数店舗買いが減っているため、客数は減っている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和8年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約31万人で、前年同月比3.6%増となった。</p> <p>イベント終了や天候などの影響により入込が減少した施設もあったが、集客力のあるイベントの実施等により全体の入込は増加した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約57万台となり、前年同月比4.6%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

中東情勢の不安定化（令和8年2月末～）により、原油価格が高騰した。これにより、レギュラーガソリンの県内小売価格は、令和8年3月16日に192.2円/Lとなった。令和8年3月19日出荷分から実施された「イラン情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置」により、足もとの県内ガソリン小売価格は、170.5円/Lに推移している。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	23,511	17,383	22,850	25,794	26,857	26,953	27,483	22,857	22,292
前年同月比(%)	2.1	▲11.5	▲2.8	▲6.5	▲8.0	34.7	22.8	▲7.1	▲12.8
KD輸出額(百万円)	1,404	1,164	1,693	1,596	1,973	2,152	2,257	2,581	2,588
前年同月比(%)	48.3	62.2	180.3	117.9	193.6	22.1	▲2.3	8.6	10.5

<楽器>

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,822	2,780	3,530	3,768	3,011	3,258	3,622	3,496	4,097
前年同月比(%)	5.6	6.1	19.3	10.7	▲2.6	14.3	33.0	27.2	41.5

<缶詰>

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
食缶生産高(千箱)	999	842	967	1,007	925	936	912	860	964
前年同月比(%)	▲4.6	▲3.1	0.2	▲4.7	▲10.3	▲3.3	▲0.3	▲1.9	7.6
うち水産缶詰(%)	▲4.5	▲4.4	1.1	▲0.4	▲6.5	2.2	3.3	▲0.2	5.6
農畜産缶詰(%)	▲4.7	1.1	▲2.7	▲16.5	▲20.8	▲17.7	▲11.3	▲6.5	14.3
飲料缶生産高(千箱)	7,109	7,368	6,504	7,735	6,857	6,365	5,581	5,611	7,948
前年同月比(%)	▲6.4	4.3	0.9	13.7	0.3	8.6	17.9	2.3	17.3

<繊維>

	R7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	559	582	678	816	951	808	787	707	718
前年同月比(%)	▲10.7	▲5.5	▲16.9	▲8.5	▲2.5	▲9.7	▲10.7	▲15.8	▲16.5
小幅織物(千㎡)	16	15	16	15	15	18	15	15	16
前年同月比(%)	▲11.8	▲11.1	▲2.3	▲5.5	▲7.8	▲11.1	1.4	▲3.1	▲3.3

<観光>

	R7年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,448	1,893	2,502	1,712	1,877	2,011	1,933	1,575	1,610
前年同月比(%)	▲6.4	▲7.9	▲3.1	▲5.4	▲0.6	▲1.1	▲4.0	▲3.8	▲1.7
観光施設(10施設)入込 (千人)	309	301	444	309	450	560	395	378	309
前年同月比(%)	5.4	1.5	14.0	▲0.8	8.6	39.6	22.8	22.8	3.6
有料道路(4路線)通行 量(千台)	561	632	729	588	594	663	635	569	572
前年同月比(%)	▲3.8	0.9	6.1	0.8	▲2.7	5.6	0.7	0.4	4.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和8年5月号 通巻601号

発行 静岡県経済産業部
令和8年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>